

東京桑野会会報

●1997年4月1日発行●発行・編集人 澤田 悌●発行所 東京桑野会事務局 〒160 東京都新宿区新宿1-3-8 YKB新宿御苑804



「冬の樹」
(熊田喜宣 75期・画)



No.19



東京桑野会会長 澤田悌

ご挨拶

- ①桑野の母校に学んだという共通の経験に結ばれた同窓の親睦の会であること
- ②会員はみんな仲良く相親しみ楽しい会であること
- ③何んらかの意味で会員の頼りになるような面もある会であること

平成9年を迎え会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。ここに東京桑野会会報第19号をお届けし、ご機嫌をお伺いいたします。

顧みますと、去る1年間は世紀末の転換期とでも申すのでしょうか、世界的に変化の激しい年でした。特に日本においては何かと嘆かわしい出来事が多かったように思います。

これも東西冷戦の終局後続いている世界的な気のゆるみに加えて、わが国においては敗戦後約50年という大切な時期に、愚かなバブル経済の崩壊に見舞われ、その後の景気の回復もはかばかしくない状態にあるので無理も

ないことかも知れません。

しかしこの様な混濁の時期にこそ、わが安積魂の不屈さが物を言う時でしょう。各方面で活躍されている同窓各位のご健在振りを頼もしく存じ上げている次第です。

さて今年も来る4月16日(水)に恒例の東京桑野会総会を今回も椿山荘において盛大に開催いたしたいと存じます。何と云っても、多感な青春前期の数年間を過ごしたあの安積の学舎、あの桑野の風物、そして懐かしい友人との数々の思い出は格別のものがあります。どうぞ多くの会員のご出席のもとに大いに愉快な一夜を楽しみましょう。

東京桑野会定期総会開催のお知らせ

東京桑野会のメインイベントである、定期総会と懇親会を開催いたします。
多数の同窓会員の皆様に参加されますようにご案内申し上げます。

- 期 日 1997年（平成9年）4月16日（水）
- 時 間 午後5時 受付開始
午後6時 総会
午後6時30分 懇親会
- 議 題 1. 会務報告の件
2. 予算決算の件
3. 役員改選の件
4. その他
- 場 所 目白 椿山荘
東京都文京区関口2-10-8 (TEL 03-3943-1101)
J R目白駅、地下鉄有楽町線江戸川橋駅下車
- 会 費 懇親会費 8,000円（学生・年度会費含む 3,000円）
1997年度東京桑野会会費 2,000円

なお、当日出席出来ない方は、同封の振込用紙で年度会費 2,000円
のお振込みをお願い申し上げます。

◇準備の都合もございますので、出欠の返事は同封の葉書で3月24日迄にご
返送下さいますようお願い申し上げます。

◇また、連絡もれもあるかと思われますので、先輩、同期、後輩もお誘い合
わせのうえ、多数の出席をお願いいたします。

◇昨年度は、1996年5月7日に開催され、200名近い参加者があり盛況でし
た。

母 校 便 り

（安積高校新聞（第148号）および本校
提供資料による）

★海外派遣研修

安積高等学校創立110周年記念の事業
として行われている生徒代表による海
外派遣研修が本年も取り行われた。今
年は、1 昨年アメリカ、昨年のイギ
リスに引き続いて、7月24日から8月
2日までの10日間、カナダ（ビクトリ
ア・バンクーバー・トロント）で研修
が行われた。10名の生徒代表は、面接、
論文等により選考され、ホームステイ
を含む貴重な体験を積んできた。その
体験は奨学金報告事業文集にまとめら
れている。今後5年間継続して行う予
定。場所は、そのつど決定。

★33年目の大改築

5月から11月にかけて、本校敷地内
の“名所”で改修工事が行われた。特
に、北校舎では昨年の外装工事に引き
続いて、内装の全面改装工事が行われ、
昭和38年以来使われてきた北校舎はこ
れで内外とも改装され生まれかわった。
また、図書館桑野文庫においても冷暖
房設備の導入、照明の入れ替えなどが
行われた。生徒談「照明も明るくなっ
たし、何よりも暖かいので勉強のほう
もずっとはかどります」。

★インターハイ

県大会では、剣道部・弓道部・ソフ
トボール部・陸上部水泳部などの健闘
が目立ち、中でも水泳部の佐久間君が
百メートルバタフライで2位に入った。
県南大会では、剣道部が団体戦1位、
個人戦でも小林君が1位となった。ま
た、ラグビー部も1位であった。

★新人戦

新人戦では、陸上部と水泳部の活躍
が目立った。陸上部では、砲丸投げで

人が、季節が、集います。

味

お食事

伝統の味に季節の彩りそえて

- 料亭・錦水
- 松阪牛和風料理・離れ家
- レストラン・カメラリア

宴

ご宴会

華やかな集いに17の大小宴会場

- 2,500名様までのパーティ、国際会議、
ファッションショーなどのお集まりに。
- 最新機能の音響装置。

寿

ご婚礼

佳き日に永遠の幸せを誓う

- 800名様までの日本料理、フランス料理、
着席ご披露宴。
- 庭園での記念撮影も随時お振りいただけます。
- チャペルでのご挙式も承ります。



CHINZAN-SO
椿山荘
03-3943-1101

橋本君が東北大会優勝。水泳部では、400メートルリレーで東北大会2位に入賞した。

★甲子園

1回戦で内郷高校に4-3で惜敗。夢ならず。秋季大会等では、好成績を取めているので乞うご期待！

★文化部

文化部では、将棋部が全国将棋選手権大会福島県大会の団体戦で1位という好成績を納めた。また、放送委員会は全国高校放送コンテスト・テレビ課題部門で最優秀賞を受賞した。

★論説から

共学化の問題が取り上げられていた。諸先輩方のご意見は？

盛大に坪井さんの日本医師会会長就任を祝う会



右、坪井さん(前列中央)を囲んで於椿山荘 H 8・12・16 左、あいさつする坪井栄孝・日本医師会会長

坪井栄孝(つばい・えいたか)さん=58期=の日本医師会会長就任を祝う会が12月16日夕、東京・文京区の目白椿山荘で開かれ、「医者は国士であるべき」など坪井さんの「哲学」をうかがい、また“身近な健康法”のお話を聴きながら、それぞれに旧交を温めました。

坪井さんは、安積から日本医科大に進まれ、国立がんセンター病院放射線部医長などを経て、郡山医師会理事、福島県医師会常任理事、日本医師会常任理事などを歴任。日本医師会副会長の2期務めた後、平成8年4月に会長に選ばれました。

その間、厚生省医療審議会委員、さらにはがん研究振興財団の「がん克服新10か年戦略」事業には専門委員として参画、活躍されました。

祝う会には澤田悌会長はじめ副会長、顧問、正副幹事長、会計監査の役員15人が出席。いつものように竹花則栄さん=55期=のお世話で椿山荘を利用させていただいて、美酒・珍味に舌鼓を打ちながらの楽しいひとときをすごすことができました。

坪井さんは、あいさつのなかで「ドアは全てオープン、会長室のドアも開放しています。医療を皆さまのためにわかり易く展開していきたいと考えています」と、開かれた医師会への取り組みを説明。一国一城の“主”である医師たちの代表として「患者さんの考

えていることと、医者のをそれを調整するのが、私に課せられた責務だと考えています」などと話されました。

また、医師の役割について「傲慢な言い方ですが、国が何となく乱れているとき、そんなときには歴史的にみてもみると医者が何かしている、国のために何かをやっているんです」と述べ、「現在の医者にそんな気迫があるでしょうか」と、会長としての職責を果たすべく強い決意を語られました。

宴たけなわ、話は「健康と煙草」になり、28歳のときから禁煙をしているという坪井さんが体験談を披露。「自分の肺の細胞が真っ黒なのをこの目で見て驚いた。それを見てスッパリとやめた」とヘビースモーカーが少なくない出席者に、やんわりと“禁煙の勧め”。話題は次に、自分の健康だけではなく、愛する妻の健康にも留意しなくてはならない、ということに移り、「私たちは子宮がん早期発見の棒を持っている。多目的に活用しなくてはならない」と、きわめてまじめな顔で話して笑わせる一幕もありました。

この日の会には、同期の58期からも星武典さん、小浜精吾さんが出席。星さんたちは一足ならぬ“三足”ぐらい早く、7月8日に祝う会を帝国ホテルで開き、郡山から駆けつけた人もいて、楽しく、にぎやかに盛り上がったそうです。

会員動向

☆宗像紀夫氏(73期、前大津地検検事正)は平成8年12月3日付で最高検検事に就任されました。

☆佐藤一男氏(65期、元日本原子力研究所理事)は平成8年12月25日付で原子力安全委員会委員に再任されました。

☆猪熊克芳氏(83期)は平成8年11月3日~11月17日に世田谷・経堂のギャラリー・ペーにて個展を開かれました。氏は'96青木繁賞の大賞を受賞された作家で「心の深層を掘り下げ広く見定める目は、あるときは微笑みを、涙を、愛を、夢を、希望を表現する詩人として語りかける。観念を押しつけた作風は、彼を時として苦しめる。相克の谷間を彼の想いは交錯しつつ高みへと魂は昇り行く。」と、ギャラリー・ペーの山本由美氏は評しています。

新業態への挑戦

ホテルと旅館のいいところ取り
一泊朝食付の宿

政府登録国際観光旅館 磐梯熱海 紅葉館

温泉 宿泊

24時間OK!

食事 休憩

温泉 宿泊

TEL.0249-84-2130

〒963-13 福島県郡山市熱海町熱海4-39(磐梯熱海駅前) FAX.0249-84-2131 社長/村田英男(75期)

ごあいさつ

安積桑野会会長 渡辺信雄

東京桑野会会報第19号発行に際し、本会会長としてご挨拶の光栄を受け、誠に慶賀にたえません。誌上よりの会員皆様へのあいさつを得る機会を与え下さり、誠に感謝申し上げます。会、会員の皆様の発展ご壮健を心から御祝い申し上げます。貴桑野会の皆様とは毎年御会い出来る度に喜び且勇気がわいて参ります。地元にて離れた同窓生とはじめて御会い出来ますことは永年の夢であり希望でありました。安積高校で培ったものが実際に生かされ脈々として受け継がれていることが痛感させられることであります。人生意気に感ずと自らに聞かせており自分の活力ともなっております。さて、早いもので創立百周年、百拾周年、の節目のときに桑野会の執行部の役員として皆様のご協力、ご支援により勤めさせていただきました。改めて御礼を申し上げます。創立百拾年以上の伝統を今も受け継がれて安中、安高の校是ともなる質実剛健、文武両道、開拓精神の三本柱を旨とし精神的、肉体的に鍛え練磨されてきた同窓生の飛躍はまさに大なるものであります。又我が安積には形としても重要文化財として存立しております安積歴史博物館が現存しておりますことでもあります。同一敷地内に厳然として維持されており、これも我々安積桑野会会員によって続けられておりますことは他に例をみることの出来ないことであります。毎年同窓生諸氏よりの御芳志により維持管理されておりますのは全国的にもめずらしいものがあり、同窓生の責任もまた大なるものがあり、誠に感謝にたえませ

るものがあり、誠に感謝にたえません。厚く御礼申し上げますと同時に多数の方々より一層のご支援を戴きたく誌上をおかりして御願い申し上げるものであります。我々の子孫代々に受け継がれてゆかれることを念願するものであります。終りに東京桑野会の益々の御発展を会員皆様の御健康を祈念し発刊にあたり、ごあいさつと致します。

安積の近況について

学校長 渡邊専一

1997年(平成9年)を迎え、安積も創立以来113年を数え、白亜の学舎(安積歴史博物館)は、それぞれの時代の悲喜交々の歴史を物語るように、今も開成の地にその勇姿を見せております。

これも、ひとえに安積に思いを寄せる多くの先輩諸兄の皆様、特に安積歴史博物館理事、評議員の方々の並々ならない努力の成果であり、それがまた後輩生徒諸君の心の大きな支えともなっております。

さて、本校舎(現在の校舎)も、昭和37年以來、年次計画で建築されてまいりましたが、いたみも出てまいりまして、昨年は、第二体育館の大改修、北校舎の全面改修、図書館(桑野文庫)の内部改修(照明工事、冷暖房工事等)は勿論、書架、机、いすの購入などを行いました。また一昨年のプール改修に加えて、体育館から柔剣道場に通ずる廊下を新設いたしまして、学習施設が一層整い、優れた環境ができました。

おかげさまで、大学への進学状況も年々向上し、昨年は、東京大、京都大、千葉大、東北大など国公立大合計で、

215名の合格、早稲田大、慶応大など私大合格は647名となりました。中でも早稲田大の37名は東北地区で第1位の合格者を占め、福島医科大の7名は、福島県合格者の3分の1を占めるという好成果を収めました。

一方、部の活動においては、一昨年の福島国体へは、四つの部から出場し本県優勝に向けて大きく貢献するとともに、昨年は広島国体に三つの部が出場し、総合9位に多大の実績を収めたところでもあります。これも、先輩の皆様方が長年にわたって築いてこられた歴史と伝統の礎の中から生ずる子供達の自信であり、またそれぞれの努力の成果であると思っております。

ところで私は、昨年の暮れに、本県教員の中国視察団長として、湖北省を中心とする学校視察の機会を得ました。勿論、中国教育の活気あふれる状況には、目をみはるものがありました。それにもまして、我が校(安積)の若き先輩諸兄の活躍ぶりでした。

その中の一人、上海領事館の総領事である橋本逸男氏(第79期)とは、約2時間ほど懇談をすることができました。彼の日本を愛する気持ちと世界を観る視野の広さには、感嘆した次第であり、後輩生徒諸君にも帰校後紹介させていただきました。更に、北京の日本大使館では、樽井澄夫氏(第79期)が活躍されておられるとのこと、また、我々視察団の旅行社の国分所長(第79期)も同期でありました。

中国の学校には、「愛我中華」の大きな掲示が、どの学校にもありました。また、街の中では「龍馬精神」という言葉を多く耳にしました。

我が安積には「開拓者精神」という校訓があります。安積に努める私共は、教職員一丸となって、「我が家に感謝し、学校・地域に敬愛の念を持ち、社会に

新技術・製品で社会に貢献

工業用ゴム製品の製造

 株式会社 朝日ラバー

本社 〒334 埼玉県川口市赤井3丁目3番7号 TEL.048-285-2251(代表) FAX.048-285-2254
大阪営業所 〒536 大阪府大阪市城東区蒲生1丁目12番10号 京橋アドバンス21 205号 TEL.06-930-2521
福島工場* 〒969-01 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字坊頭窪1番地 TEL.0248-53-3491(代表) FAX.0248-53-3493

◆Uターン希望者募集◆

地元福島工場でスタッフ募集中(総務・経理・企画)。連絡は、本社か福島工場へ。

代表取締役社長 伊藤 巖 (65期)

貢献のできる人間の育成」をめざして一層頑張っ参ります。

東京桑野会の皆様のご健勝とご発展を祈念し、近況の報告といたします。

「房総吟行案内抄」

竹内 旦 (50期)

先頃、千葉県在住の俳人協会員が夫々分担して、俳句実作者のために役立つようにとの主旨で編集され、小生も「干潟(ひかた)町」の部を執筆したのでご紹介する次第。

○干 潟

大原幽学遺跡・干潟八万石

交通・JR総武本線旭駅下車

小見川行バス中和下車

・JR成田線小見川駅下車

旭行バス中和下車

バス停中和から干潟農協わき舗装路を北上すると、「大原幽学ゆかりの里干潟町へようこそ」の歓迎アーチが建ち、そのまま北上すると右手に大きな駐車場が見える。ここから西へ農道を約100メートル進むと大原幽学遺跡公園の事務所に至る(中和バス停から徒歩約15分)。

最初の石段を登ると右手に幽学の旧宅、遺品館、大原聖殿、その奥にエビネの群生しているエビネの里、北に進むと椿の里、幽学設計になるという林家住宅(匂会場に可、要予約)、キャンプ場、月見台があり、北側の低地には小動物園などもある。その他公園内の見晴らしのよいところには四阿が配置され、素朴だがよく整備された新しい公園である。干潟八万石へは、バス停中和から旭の方へ眺望のきくところま

で南下、後記する先人の苦勞をしのびながら吟行されてはいかがか。

・大原幽学

江戸時代末の農政指導者。寛政9(1797)ー安政5(1858)。天保6(1835)長部村(現干潟町)を中心に房総の各地その他で性理学という独自の教学を興し、経済と道徳の調和を図り、その教学の実践につとめた(世界で一番早い協同組合の設立、土地改良から住宅の設計まで手がけ、日本農村の模範を示した)。幽学の教えは性理学と称したが、その真髓は微妙幽玄考に述べられている。天保12年(1841)年施行の耕地整理は国の指定となって現存している(現在の公園事務所前の田がそれである)。当時の世相は「天保水滸伝」に代表されるとおり人心は乱れ農村は荒廃した。これをたてなおし生活を改善しようとする幽学は博徒から敵視され、また幕府の出先機関も幽学の教理を異端視し、博徒との争いをとがめられて百日の謹慎を命ぜられた。のち一部門下

生の混乱を見た幽学は、懇篤な遺書を残して安政5年(1858)3月8日未明、名主の墓地で自刃した。

・時に62才(ローカル線の農婦饒舌幽学忌 近藤乙夜)。

・干潟八万石

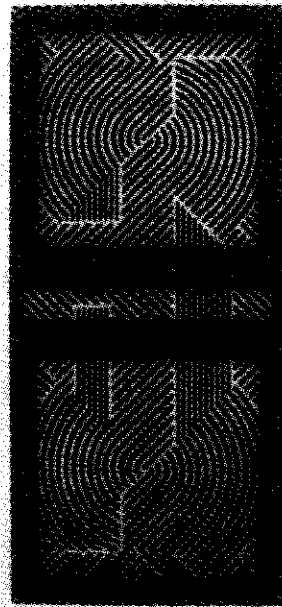
近世のはじめまでは椿の海といわれ、約5000ヘクタールの広大な潟湖であった。元和年間(1615~22)江戸の町人杉山三右衛門が干拓の事業を起こしたが資力つきで挫折。その後幾人もの人が事業を引き継ぎ、種々の困難に遇ったが寛文10年(1670)12月、現在の新川の疎水工事が完成。翌年3月湖水が干され、その翌年には稲が植えられた。現在は土地改良などにより総面積約4000ヘクタール、米の生産高は約16万石に達している。(稽まで干潟八万石どころ 増田湖秋)。

◇問合わせ、予約先

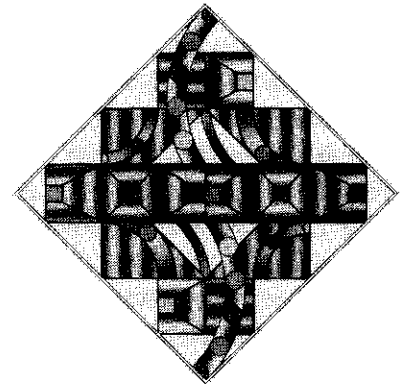
千葉県香取郡干潟町長部345-2

大原幽学記念館

(TEL 0479-68-4933)



[REPRODUCTION 92-1]



[COMPOSITION 93-1]

(熊田喜宣 75期・画)

- 健保取扱
- 電話予約制
- 休診日：木、土、日、祝日
- 診療時間・10:00~13:00 14:00~17:30

伊豆歯科医院

港区新橋 6丁目2-8
電話 (3434)-0231 74期 伊豆 秀雄

日本医師会長になった友

山本 佳 (56期)

昔、旧制中学校で机を並べて学んだ幼な友達が、このたび日本医師会会長に就任した。

去る4月1日、日本医師会の会長選挙で、友人の坪井栄孝氏が、対抗馬の東京都医師会会長福井光寿氏と激しい選挙戦の結果、勝利を収め約14万の日本医師会の第15代会長の座についた。

私達は福島県立安積中学校(現・安積高等学校、郡山市)に昭和16年(1941年)4月入学、58期の同級生で「栄孝ちゃん佳ちゃん」で呼び合う仲である。

坪井君は祖父母、両親、弟妹に囲まれた材木商の長男、丸顔で色白、スポーツ好きだった。生真面目さと剽軽さを同居させたような性格のなかに一本シンの通った正義感と負けず嫌いの少年でもあった。勿論ガリ勉型ではない。

彼は安積中学から日本医科大学予科に進学、卓球部に入部し、夏休みに帰省した折りなど安積高等女学校にコーチに出掛け、にきび顔で色気づいた級友達を羨ましがらせた。

医師になってから文京区千駄木の母校病院に在籍、オール附属病院の野球大会ではエースとしてマウンドを踏み、打棒も鋭かったと…後輩の弁。

その後、国立がんセンターに勤務し、放射線科診断医としてがん制圧の第一線に抬頭し、学域を広めてゆく。

柳田邦男著「がん回廊の朝」の中で次のように記されている。

「ちょうどこの頃、石川のチームに働き盛りの放射線診断医が加わった。坪井栄孝という34歳の男だった。坪井栄孝は、確認の困難な早期肺ガンの診断

をするため、独自の方法を考えだし、日本医科大学放射線科で10年来その研究に取り組んでいた。それは気管支から細長い細胞採取器を差しこんで、気管支の末梢にある病巣の組織の一部を採取し、それがガン細胞であるかどうかを病理学的に調べる方法だった……以下略。」名実共に真摯な学究派である。

1967年、坪井氏は国家から派遣され、半年ほどタイに滞在、タイ国立ガンセンター設立に尽力する。

1970年「がん医療の地域格差をなくしたい、東北でがんセンター的機能のある施設を作りたい」と故郷の福島県郡山市駅前に、坪井診療所を開設する。

1977年に財団法人、慈山会医学研究所附属坪井病院設立、地域医療をリードする病院長として現在に至っている。

1988年から日本医師会の理事、1992年から副会長の要職につき政治家や厚生省、大蔵省と渡り合い着実に人的交流を深めてゆく。

「医師会の基本は、国民に良質な医療を提供すること」と彼はオーソドックスだが、国家の財政基盤、保険医療の見直し、医師の経済的基盤の確立の急務など矛盾する難問を抱えての登板である。

私は日本医師会副会長時代の坪井氏のことを、中国の周恩来タイプで、バランス感覚の良い優れたセカンドマン、ソフトで副総理タイプかなと観察していた。

ところがこのたび「どうしても(会長)私にやらせて欲しかった」と検舞台に打って出た度胸、情熱、こころの押し、読みの深さには正直なところ私には青天の霹靂だった。

しかし彼の歩いてきた道程を辿ると現在の席は不思議ではない。坪井氏の行動は人生の幾段もあるステージで、

常にビジョンを持ち続け、全力で物事に打ち込む開拓精神に溢れている。医師としての職業を通して自己実現を果たしてゆく姿、がん制圧ののろしを挙げ、まず土を耕し、種をまき、くりかえしくりかえし心を耕しなおしながら生きている成果が、今の彼の姿であると私は思う。

このたびのメークドラマで郡山市の55期生の先輩島多門氏の存在は大きい。皮膚科医で福島県医師会会長、今年で3期目で油の乗り切った立場にある。島多門氏の令弟日出夫君は58期生、むかし坪井材木店も郡山駅前の柳町にあり島家、坪井家は同じ町内の間柄であった。

日本医師会副会長の後輩坪井氏を検舞台に押し立てた陰の力は、島多門氏と彼を取り巻く安積パワーである……と。思っていたと胸が熱くなった。

七夕の頃、在京の安積の58期生と郡山から駆けつけた同級生、計40名ほどで、坪井栄孝君日本医師会会長就任祝賀、激励会を帝国ホテルで開催した。

人徳のある坪井君を囲んで、彼の名誉を自分の事のように喜びあう六分の俠気、四分の熱の安積の友情は厚かった。友人の一人が、自作の漢詩を朗詠し彼を激励した。私は日本棋院の呉清源の書による「闇然而日章」の扇子をお祝いに贈った。

回想すると安積中学の後半は、大東亜戦争も末期でズタズタな社会環境だった。学徒動員で横浜の軍需工場に駆出され、寮に入り、一ツ釜の飯ならぬ芋粥をすすり合った友、卒業式も出来なかった暗黒時代、しかし学問の知識は不足したが、その中から得難い体験と終生の友に恵まれた。

和気藹々のパーティの中で私は中国の論語にある「益者三友」という言葉が頭をかすめた。

孔子のいう交わって益となる三種の

Kinden
CORPORATION
電気設備

株式会社 **きんでん**

東北支社 〒980 宮城県仙台市青葉区中央4-6-1 住友生命仙台中央ビル6階
TEL.022-227-1265 FAX.022-224-8071
福島営業所 〒963 福島県郡山市清水台1-6-2 山相郡山ビル2階
TEL.0249-23-5193 FAX.0249-23-5177

東北支社顧問 土屋七郎(57期 東京桑野会副会長) 東北支社長 増田輝雄



友。直なる人（人柄が正直）、諒なる人（誠意をもってはっきりものをいってくれる人）、多聞（知識がある）。孔子はまたいう「損者三友」と。交わってためにならぬ友の三種のこと。便辟（お体裁やで不正直）、善柔（人あたりがよいが不誠実）、便佞（口先がうまい）。私は益者三友に恵まれ幸せである。

坪井氏が暖かい拍手のなかで挨拶した。全国津々浦々を駆けめぐり代議員（500名に1名）301票の修羅場をくぐり抜けた厳しさ、風格が身辺をつつんでいる。彼は昔から諒なる人で誠意をもってはっきりした話し方をする。

「全国を廻って若いドクターが医療の危機感を強く訴える声が多かった。しかし若いドクターには肝心の投票する票は持っていない。若いドクターの人達が、進んで票を握っている年輩のドクターに危機感を訴え、揺さぶり掘り起こしてくれた事が本当に嬉しかった。使命感をひしひしと感じます。貴乃花の言葉ではないが、不惜身命の心境です」と述懐した。

介護保険、エイズ対策、葉害問題、保険医療制度の見直し等々、山積みする難問を抱える医療界、厚生省を始めとする官僚に対する医師会の姿勢にも注目したい。「開かれた医師会」「国民のための医療」を標榜する坪井氏への期待は大きくかつ重い。

21世紀への医療界のより良き構築に向かって質実で剛健な歩みを辿って欲しい。

私達の代表である中原爽先生ともども御活躍を心から祈った。

坪井氏の趣味は落語鑑賞「昭和の名人の落語は全部生で聞いた」ことが自慢、粋な一面もある。

1996年、夏

（東京都歯科医師会雑誌掲載文の一部を削除：加筆した）

鎌倉文学館便り

竹花則栄（55期）

サラリーマン生活に終止をうち、3年前に牛にひかれて善光寺もうで、ではないが68才の時の初孫にひかれて、逗子にスープの冷めない近くへ転居いたしました。

心持良い香りの森と海がある湘南は、自然と歴史と文学が渾然と解けあった風土を造り上げ名所旧蹟の宝庫です。又それにつわる博物館、美術館等が随所にあり、3年目を迎えても未だほんの一部しか訪ねておりません。

実は昨年、次男の住まいの藤沢の帰り道、日本最大で「長谷観音」の名で知られている長谷寺に立ち寄り山門の所へ来た所、左側に我が安積の大先輩で一期生の高山樗牛先生の「高山樗牛ここに住む」の記念碑が建てられてありました。先生が鎌倉の名所、旧蹟特に日蓮に関する遺跡を丹念に見て回り、境内に居住されたための記念碑とのことです。さらに驚いたのは、寺の宝物殿の前面の相模湾を一望出来る見晴台の入り口の所に22期の先輩である久米正雄先生の胸像が安置されておりました。先生が関東大震災の折、この長谷寺に逃れて助かった縁を記念して鎌倉ペンクラブの方々が建てられ

たそうです。先生は当時鎌倉文士の中心的存在で昭和7年鎌倉町会議員に立候補し、最高点で当選、文化人の代表として町政に尽くしました。又一高時代の同級生の菊池寛、芥川龍之介他鎌倉在住の有名文士達に呼びかけ「鎌倉ペンクラブ」を結成し、その初代会長に選ばれたとのことです。お寺さんのお話はこの近くに鎌倉文学館（旧前田家別邸）と言う高山先生、久米先生をはじめ鎌倉ゆかりの文士の方々の著書、原稿、遺品等を収集し展示している所があるとのことのお話し、この機会に參觀されてはとすすめられ長谷駅の隣の由比浜駅で下車歩いて6分、敷地1萬坪の建物に入館、更に驚いたことには38才の時「厚物咲」で第7回芥川賞を受賞、文壇に登場した30期卒業の中山義秀先生のお名前があり、当館の平成2年度の特別展として中山義秀展を開催したとの事。その時の先生の伝記に大正2年郡山町の県立安積中学校（現安積高校）に入学、同校卒業生に久米正雄、鈴木善太郎らがいると記されておりました。自分自身の事に感激致しました。実は私が美術館、博物館巡りに趣味を持つきっかけは大阪太閤園事業所在任中藤田観光関係の藤田美術館が隣接してあり又京都、奈良巡りをして関心を持ち仕事の面特にお客様との対話の中でも役立つことが出来ると思いました。美術品、絵画等もあまり窮屈に鑑賞せず鑑賞の範囲を広くして、わかるものから素直に鑑賞してゆけば内容が深くなり又広がって楽しむ事が出来ます。同窓生の皆さんの益々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

営業品目

- 煙突・公害防止関連機器
- 貯槽・塔槽類
- 鋼構造物

上記品の

- 設計・施工監理
- 点検・調査・診断
- 製作・建設



株式会社 富士ハイエンジニアーズ

一級建築士事務所

〒105 東京都港区新橋4丁目21番7号

つるや加藤ビル

TEL (03)3434-1611 (代表)

代表取締役 遠藤 修 (67期)

中国宝鶏市訪問記

渡辺大助 (57期)

宝鶏市と聞いても一体何処なのか直ぐ分かる人は少ないかも知れない。中国の地図を開けば西安の西180km付近に発見する事が出来る。96年12月の半ばからクリスマス前迄JICA（日本国際協力事業団）の仕事で宝鶏市に行く機会があった。私が行った工場は従業員2800人の大きな所で総経理は若くテキパキとした技術出身で聡明な感じの人であった。話によるとソ連と事を構える事態に備え毛主席の戦略で疎開によって出来たもので上海出身の人が沢山いるとの事であった。宝鶏は黄河支流の渭水に沿った細長い街で近代的なビルを中心に聳えている。工場から車で10分の黄土台地に中華民族の始祖と言われる炎帝陵がありこの付近は周と秦王朝の発祥地である。日曜に仏教の聖地である法門寺、かの有名な諸葛孔明廟と太公望で有名な釣魚台を訪れる機会に恵まれた。

法門寺を訪れた時には、旅行案内では96年5月現在で工事中とあったが私が行った時にはもう工事も完成していて唐代に作られた儘の塔が美しく冬の日を浴びて聳えていた。この塔は地震で崩壊しその再建に当たって地下室が発見されその中から多くの宝物と共にお釈迦様の指の骨が発見されたのである。これは、1960年代の事で当時の大ニュースだったそうである。この塔の宝物の中に金の錫杖があり、そこに付いていたリングの数が12ヶあって、世界で最大のリングの数は10ヶだったことから、この寺院の格が世界最高と言われる由縁である。

この辺は黄土地帯で宝鶏の周りは切り立つ黄土の断崖で区切られた段丘となっている。段丘の上は平坦で冬麦の芽が柔らかく芽生えている。路肩の柔らかい、凹凸の大きな路を人の歩行よりも遅い速度でゆるゆると断崖を上り、とうもろこしの実を所狭しと乾燥している村村を通り段丘の一番上の平原に辿り着くとやっと五丈原の諸葛孔明廟に到達する。ここには彼の衣冠束帯が葬られている。「死せる孔明生ける仲達を走らす」との故事で三国史で有名な所で高い崖の上に立ち五丈原を遙か下に望めば千数百年前、ここに立ち数万の兵に采配を下して戦った場面を彷彿として思い浮かべ暫し感慨に捕らわれたのであった。諸葛孔明の夫人は非常に聡明で天才的な軍師に良く支え片腕として活躍した夫人に対して「内助の功」と言う言葉が捧げられたとあり、凄い夫人がいたものだと思いに思いつかされたのである。最後は太公望の釣魚台に足を伸ばした。ここは山間の谷川で両側から迫る山の上には白い氷が見え隠れしている。太公望は釣り人の代名詞として使われているが狭い谷川の中の花崗岩の上で針も付けず釣りに日を過ごし、身を隠して日を過ごした偉大な人物とのことである。私は彼のことは殆ど何も知らないが、何故中国の胡麻粒よりも小さい点にしか過ぎないこの地の出来が三千年も後の一人の日本人が彼の名を知っているのか、そしてこの旧跡に来ているのが不思議としか言いようがない、頭の芯がくらくらする感覚に陥ったのである。

中国の歴史の厚さと広大な大地の魅力は尽きることがない。

夜汽車

関根正見 (59期)

夜汽車のことが思い出である。往復約4里の道を急ぎ足で郡山駅から隊伍を組んで通学した思い出である。又或る時は緑と清流を求めて安積永盛廻りで通学した事が次々と思いつながっていく。普通は郡山駅から麓山公園、開成山へと向う道である。春は櫻、夏は緑と汗、秋は実りの畑と木々、冬は寒さの中を素足を真赤にして、時には雪舞う中のこともあった。そんな毎日の中で学業に励んだことでした。先輩の教えを参考に來るべき進学を夢みて学業にいそしみました。そんな中で、特に英、数、国、歴、博、の先生の見事な授業は沢山の思い出があり楽しく興味深い日々であり今も尚心に残るものです。そんな日々も過ぎ去り、やがて勤勞奉仕の作業がシーズン毎に入るようになり次には勤勞動員の命が出るのです。学年がばらばらに別れてそれぞれの工場へと派遣され生産に従事するようになるのです。今も郷里を訪れると必ずその前に立ち当時の思い出に耽る。吾が青春の一頁であったことを確認する。思いはこもごもでありその中で忘れてならないのは平和の大切さと言うことである。確か昭和20年3月の事であったと思うが空襲があり郡山の工場に動員されていた同僚の中から尊い犠牲者を出してしまったのである。

郡山駅頭に立つ度に今も自然に頭が下がってしまうのである。戦後五十年を経過し全国民が平和の大切さを心新たにしたばかりであるが私の心からは同僚の犠牲が心にしみ一層平和の大切さを感じるのである。

鞍手茶屋

東京で福島のけんちんともちを!!

——昼はそば、夜は酒と肴——

霞ヶ関店 〒100 東京都千代田区霞ヶ関3-2-5 霞ヶ関ビル1F 電話 03-3581-7066

大手町店 〒100 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービルB1 電話 03-3213-2385

中山峠店 〒963-13 福島県郡山市熱海町国道49号線中山峠 電話 0249-84-3774

〈店主〉上野富衛(78期)

東京桑野会については役員幹事の皆様の努力に感謝致しております。会員一人一人の理解と努力が大切です。それぞれの会員の方が楽しさを工夫することだと思います。私も深く反省しております。

専門の分野というものはありませんが勤務の経験がその中に入るとして四十三年間の百貨店の経歴があります。主として法人外商部門を担当し各業界の方々にお世話になりました。法人対象の営業でありましたので幾多の商品を手掛け又新しい分野の営業開発もいたしました。商社側面も業に含まれていましたので大変楽しい経験でした。

敢えて趣味と申せば法人外商に従事したこともあり、環境に恵まれ美術との出会いがありました。特に絵画、陶磁器、等が好きです。関係諸先生との面識にも恵まれ御指導をいただきました。今も御世話になって居ります。現在は専ら毎日ウォーキングを心掛けて居り一日1万5千歩を完歩しております。各種団体のラリーにも積極的に参加しております。

21世紀に向っては勤務先のスローガンを目標としております。日本が早く健全になって豊かさある社会となることが大切だと思います。そして世界に貢献できるような世紀となることです。国民一人一人が小さな事から心掛けることです。私も小さな事から実行をと心掛けています。

(元(株)東急百貨店商事部長、元ゴールドバック(株)取締役総務本部長)

安積の師と友と

橋谷卓成 (67期)

昭和29年に安積を卒業してから43年がたちます。私は、現在、柳沼 弥重先生(生物)の母校であります東京農工大学農学部(当時は東京高等農林学校)に勤務(化学)しております。同僚に農場の教授として71期の塩谷哲夫さんが在職しています。このたび、東京桑野会広報部からのご依頼で安積のころとその後のことをふりかえってみました。

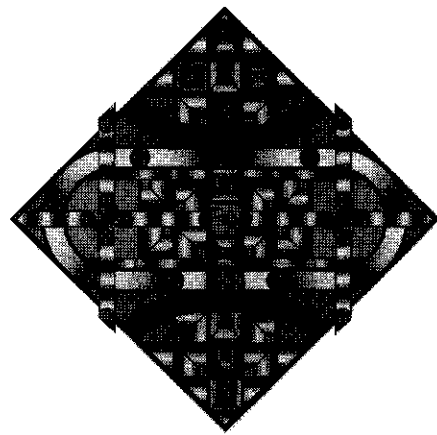
1年のときの担任は山浦實先生(生物)、2年のときの担任は早稲田を卒業されたばかりの針ヶ谷悦郎先生(英語)、3年のときの担任は牧田治久先生(国語)と柳沼弥重先生でした。懐かしい先生方です。1年のときの英語の先生は菊池沖之介先生でした。授業の合間に、優れた卒業生の逸話、気骨ある中退生の話、そして英文学の話など、新制中学から入学したばかりの1年生にとって、文学の薫り高い、暖かい含蓄のある先生でした。私が学習院大学に入学したばかりのころ、ドイツ語を教えていただいた独文学の関泰祐先生と共通の味わい深い先生でした。

友人のことで思い出しますのは、佐々木達也(68期)さんのことです。安積では、佐々木さんのことは知らなかったのですが、大学に入ってからお互いに仲良くなりました。中学校のころからの親友である山下敏さん(68期、宮古市山下外科医院)の友人として山下さんから紹介されたこと記憶しています。佐々木さんが東京大学の法学部在学中に、文京区森川町の求道学舎で一緒に暮らしました。佐々木さんは心のやさしい人で、音楽が好きでした。と

くに日本女子大学との混声合唱団で活躍していて、「ソロで歌うからぜひ聴きに来てくれ」とのことで、駒場キャンパスまで聴きに行ったことがあります。残念ながら、昭和47年11月、佐々木さんはモスクワの空港における航空機事故に遭遇し、亡くなられました。野村総合研究所の副主任研究員としてヨーロッパに調査のため出張中のことでした。生きておられたらなあとも思っています。山下さんにあったときも、悲しいので、お互いにまだ佐々木さんのことは話題にできません。祈ご冥福。

東京桑野会の会合には、同期で水口禎さんがお世話なさっているのに、毎年都合がつかず失礼しています。安積のことは、同期の守田四郎さんが私の勤務先までときどき訪れてくれて、彼から様々な話題を提供してもらっています。また郡山でときどき開かれる同期会や同級会に出席して、恩師、級友と安積の雰囲気にはひたっております。さらに郡山のことは、塩谷さんから「街こおりやま」という小冊子をいただいて楽しみに読んでいます。恩師のこと、友のこと思い出すことは多いのですが、このへんでおしまいにします。

(東京農工大学教授)



[COMPOSITION 95-R-1] (熊田喜宣・画)

小橋クリニック

院長 小橋主税 (86期)

福島県須賀川市仁井田大谷地172-3
TEL 0248-72-1555

「キリスト磔刑三面作」 制作雑感

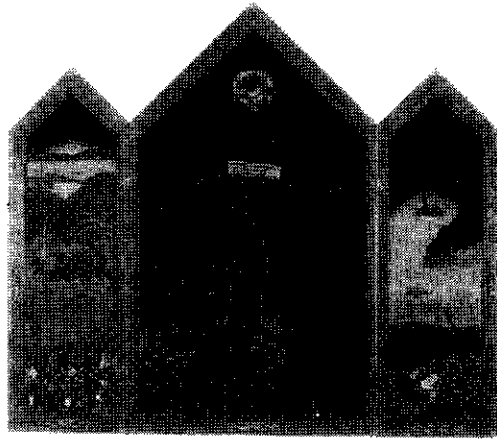
岩谷 徹 (67期)

人間には誰でも表の顔と裏の顔、政治家など五つも六つもの顔を持つ者も多いようであるが、アーティストの表と裏とはどういうことかという、それで食う作品はいわば表の顔、しかし面白いのは裏の顔ともいべき部分で例えばゴヤの黒のシリーズ、戦争中ほんの何人かにしか見せず現在行方の知れない、ソ連の戦車に蹂躪される日本兵を描いた嗣治のノモンハンのモチーフの生々しい描写等、彼らは真実というか人間の持つ深淵を知り避けずに直視していた作家であった。一人の作家に色々な面があるのは面白いものである。人間は決して一枚岩の存在でなく揺れ動くものであり仮面と真実の分け難い存在でもある。

自己弁護になるが私自身も渡仏以前から裏の部分ともいえる作品をいくつか制作しておりそれが私の表の作品群の緊張を支えてきたように思う。

丁度昨年(1996年)は還暦と在仏25年といわば区切りの年でここ数年この裏の部分振り返りまとめてみようと思いたった。本来私には当世風というか、時代と野合するような新しさを追う性向も精神もなく時代から一歩退いて考えるジャーナリストイックとは反対の思考のタイプでいつもそのスパンが長く現実から一歩も二歩も退いて心理的、精神的にマージナルな所に身を置くという自覚で生きている。このような精神の境位でもものをつくるのがこの現代で見る人にどれだけインパクトを与えるかは疑問であろう。

何故クリスチャンでもない私が西欧



キリスト磔刑三面作(Enfance)、油彩、'96作

伝統のキリスト磔刑図をかりて描いたかというのはこの血なまぐさい20世紀こそ磔刑図が実によく似合うように思うからである。

私は映画作家今村昌平が好きである。人々が忘れ風化しても「からゆきさん」「黒い雨」のような作品を執拗につくった。私も現代芸術の潮流とは逆に自分の芸術に一つのモラルを提示したいと思っている。フランスのテレビのチャンネルにARTÉというのがあり殆ど毎日第一次、第二次大戦特にユダヤ人のナチスによるホロコーストのドキュメンタリーを歴史家、当時の軍人、政治家、被害者などのコメントを交えて放映しているがかくも毎日繰返す西欧人(ユダヤ人も含めて)が如何にしつこいかに驚かされるが、将来のヨーロッパ統合にこれらの歴史事実の分析、反省、解決なしで決して実現できないという考えなのであろう。

25年西欧人、ユダヤ人を観察して感ずることは一つの方向性を持つとその方向以外目に入らないような頭の固さにびっくりするが又一つのことを信ずるととことん徹底するようなところにやはりオリジナリティを生む秘密を嗅ぎ出す。頑固さとオリジナリティはコ

インの両面のようなものである。しかし今の西欧の若者は日本のように平気で人のコピーをするようになりこの変化は西欧の凋落を象徴しているように感じる。

先日ラジオであるフランスの美術評論家が将来アートは消えていくだろうといていたが、私も10年以上前からそう直感している。只、今回のキリスト磔刑三面作は今まで勉強思考して得たものを出来るだけ盛込もうと考えて制作した。例えば自分のつくり出した西欧合理主義、それから生まれた物質主義文明への批判、世界平和、共存へ向かって現行の世界の各宗教宗派の功罪への批判と希望、20世紀の最大の問題の一つの地球汚染など出来るだけ20世紀の裏の繁栄と同時進行した諸々のネガティブな面を総合して20世紀は何であったかを提示し何とか21世紀に希望を託したいのではあるが人間・地球の状況は増々混乱、困難の様相を増しているようである。

これから自分自身どうなっていくのか全くわからないが思考と制作という行為を生きることに出来るだけつなげたいと思う。

(1996・12・3記)

株式会社 東京シンクサービス

- 業務 特許公報の抄録・翻訳、工業技術の指導・調査
- 特色 高齢者の雇傭
(全従業員の91%が60才以上、70才以上は54%)

〒101東京都千代田区内神田2-13共同ビル
電話 (03)3254-5805
相談役 鎌田 正二(43期)

「デンスケ会」について

村上信一 (69期)

デンスケとは昭和31年卒業年度の5組を担当された横田源助教諭の渾名である。何故にデンスケと言われるようになったのか定かではないが、名前の源助をデフォルメしたか、当時はやっていた同名の漫画の主人公の風貌に似ていたからか多分両者が一体化して心地よい4文字の響きに納まったものと思われる。

「デンスケ会」はその恩師の渾名を拝借して東京近郊在住の横田HRの同級会の名前にと斎藤清明氏が命名したもので、なかなか良い名前と思っている。

横田先生は既に他界されており、東京にご招待して安高時代のご恩に感謝とお礼の言葉を申し上げることは叶わないが、せめて横田先生を偲んで青春時代を振り返ろうということで第1回の同級会を平成7年11月10日にお茶の水のホテル聚楽（佐藤廣氏の紹介）に於いて8名の参加で開催された。

出席者の名前を五十音順敬称略で記すと國分弘善（YKKAP）、斎藤清明（東栄電機）、佐藤廣（日本大学歯学部）、圓谷秀廣（NECテレネットワークス）、藤田十三雄（赤穂海水）、譽田正孝（東邦オリンピック工業）、村上信一（富士ゼロックスエンジニアリング）、柳沼宣昭（石神井消防署）である。

39年ぶりに会う人がほとんどで名乗られなければ見知らぬ人の状態だったが、話し込んでいくと高校生の面影が甦り、せいかくや話し方があまり変わっていないのに気が付いた。人間は本質的に年をとっても青年時代の気性を保持していることを再確認した次第で

す。

超多忙の武蔵克之氏（東京屋外広告ディスプレイ健保組合）が欠席だったが次回の会場を提供するという好意に甘えて、第2回の「デンスケ会」を平成8年4月12日前記武蔵氏が常務理事を務める箱根の強羅荘に於いて初参加の星隆氏（ギターセンター）を含め7名の出席で開催された。

開所3年目の立派な保養所に全員大喜びで、加えて安高卒業40周年にあたり感無量のものがあった。

さらに2回目ともなると、気も心も安高同級生に戻り、和気藹々と談笑し豊富な美酒と美女に夜更けまで酔いしれたのであった。

翌日は二日酔いの残る体でゴルフ場、テニスコートへとそれぞれ散会した。

処で、我々の生きてきた時代を振り返ってみると、社会に出て働き出したのが昭和35年頃で丁度所得倍増の高度成長期のスタートに当たり、全ての産業、行政の分野で新しい枠組み、成長が多く、欧米のお手本があったとはいえ指導者がほとんど居らず、試行錯誤と安積健児の頑張りで突き進んできた。

今の日本の繁栄は自分たちが一翼を担ったのだと自負している。

しかし、我が国の現状はそれほどバラ色にはなっていない。成熟社会特有の目標喪失、個人主義の行き過ぎで明日への希望を持ってない状態に陥っている。

我々ももう一度一肌脱いで頑張ろうと思いつつ、還暦の齢に届こうとする我が身を振り返り、新しい酒は新しい革袋が良いだろうと、数多くの難関の改革は後輩に委ね我々はそれを静かに見守っていこうと思っている。ただ、邪魔にならない程度のアドバイスをさせて頂き、時には手を出すかも知れないが快く受け入れて頂きたい。

そろそろ第3回の「デンスケ会」の企画を考える時期が来た。今年はどうな顔ぶれになるのだろうか。

最後に東京桑野会の会員諸兄のご健康とご活躍を「デンスケ会」一同心から祈念し近況報告と致します。

ドライバーで ホール・イン・ワン

増子邦雄 (71期)

ゴルフをするものにとっては、ホール・イン・ワン達成は夢である、と人は言います。私は昨年（平成8年）の夏、生涯2度目のホール・イン・ワンをしてしまいました。

しかも、お恥ずかしいと言うべきか、ドライバーで、であります。なにドライバーだろうが、サンドウェッジだろうが、ホール・イン・ワンはホール・イン・ワンです。私にとっては、2度目でしかもこの目で見えた、という所に価値があるのであります。

1度目は、13年まえ八王子CCの5番ホールでやってしまったのですが、この時はピンがガードバンカーのマウンドの裏側に立っていたため、ホール・イン・ワンに全く気付かず、グリーンに上ってはじめてわかった、実に感激のないものでした。しかし今度は、はっきり自分の目で確認できたのです。

夏休みを取っての仕事仲間とのプレイでしたが、埼玉県は滑川町に平成7年3月にオープンしたばかりの西武系パブリックコース、おおむらさきゴルフコースがその舞台であります。久迹CCや武蔵丘GCの姉妹コースだけあって、豪華なクラブハウスが印象的でしたが、私にとっては西コース8番180ヤードのショートホールが、一生記憶に

《地域社会に奉仕して30年》



府中運送株式会社

免許番号/65東陸自2質(1)第1808号

遠藤征志郎 (72期)

■本社/〒183 東京都府中市白糸台1-23-10

TEL. 0423(65)1476(大代表)

FAX. 0423(61)7600

新時代の物流をクリエイト。

■千葉営業所/千葉県印旛郡印西町木下東2-2-17 〒270-13

TEL. 0476(42)8661 FAX. 0476(42)8666

■府中配送センター/東京都府中市白糸台1-33-2 〒183

TEL. 0423(34)4788 FAX. 0423(34)4785

■東京乳業事業所/東京都府中市豊政4-8-1 〒183

TEL. 0423(69)4512 FAX. 0423(69)6993

■三洋事業所/東京都八王子市左入町777-1 〒192

TEL. 0426(91)3172 FAX. 0426(91)3171

■電報配達事業所/東京都府中市白糸台1-23-10 〒183

TEL. 0423(67)1253 FAX. 0423(60)2914

■55便事業所/東京都府中市清水庄3-29-1 〒183

TEL. 0423(33)0055 FAX. 0423(69)9672

■引越サービスセンター/東京都府中市白糸台1-23-10 〒183

TEL. 0423(65)8100 FAX. 0423(61)7600



残るものとなりました。

午後のラウンドに入り、あと2ホールを残し8番ホールのティーグラウンドに立ったのは、2時をすこし回った頃でした。

8番ホールは谷越えのショートホールで、ピンまで約185ヤード。谷越えには160ヤードのキャリーが必要とみました。グリーンは2段の受けグリーンで、ティーグラウンドから1~2ヤード上に見えました。手前のラフは10ヤード足らず、一段目グリーンから二段目グリーンまで約10ヤード、二段目グリーンの中央からやや左、一段目の境から上り約5ヤードの所に件のカップがさがらえています。

その日は、折からの12号台風の影響で強風が吹き荒れ、8番ホールでは強いアゲンストの風が吹いていました。クラブの選択には正直言って迷いましたが、約160ヤードの谷越えで受けグリーン、カップは二段目の奥にあり相当の上り、しかも強いアゲンスト。今の私の力では、ロングアイアンやパッフィーはおろかスプーンでもこの状況では二段目グリーンまでボールは上がるまいと判断しました。ショートホールでドライバーを使うのは相当の抵抗を感じましたが、とにかくボールに勢いをつけなければならぬ。たとえオーバーしても、奥の土手でボールが止まってくれるだろうと。あとはヘッドアップしないように注意して無心にクラブを振り抜きました。

ボールはイメージどおり、やや低い弾道でフェイド気味に出て、一段目グリーンの中央やや左、エッジより3~4ヤードの所に落ち、するすると転がり二段目グリーンに上って行きます。最初スライド気味に転がって行ったのが、二段目グリーンに上るや、今度はややフック気味に転がって行くように

見えました。

ティーグラウンドでは仲間のプレイヤー、ハウスキャディーから「あっ、入る、入る」と悲鳴に近い声がおこり、そしてボールは、その声に後押しされるようにピンに向かって一直線に転がり、一瞬、私の視線からパッと消えました。

「わあっ、やった！ホールインワンだっ！」周りから、誰からともなく声がわきおこり、その時、当の私は、「2回目か。こりゃ困ったなあ」と、なぜか冷静でした。

さあ皆さん、とにかくネバーアップ・ネバーインです。勇気をもってドライバーでホール・イン・ワンにチャレンジしましょう！



たより

三浦喜一 (71期)

♪覚えているかい 故郷の村を

便りもとだえて 幾年過ぎた……

私たちの世代ならば、誰でも知っているだろうと思える故三橋美智也さんの代表曲「リンゴ村から」の歌い出しの部分である(昭和31年発売)。

当時はまだ集団就職の時代で、私の中学の同級生も何人か、中学を卒える就職列車の人となり東京などへ向かった。彼らからは時折、仕事のつらさを訴える手紙が届いた。私もせっせと返事を書いた。償いとかがいうオーバーな気持ちなどさらさらなかったが、高校に進んでのうのうとしている自分にできる、それが唯一の彼らに対する友情の証しだと信じていたからだ。それが幸いしたのかどうかはわからないが、現在もなお、彼らとの交流は続き、

季節ごとに集まっては杯を交わしている。

そう言えばあの頃、「文通」などというものはやり、雑誌の文通欄を通じて見知らぬ土地の見知らぬ人と、手紙のやり取りをしていたものだ。

昭和39年、若い二人の書簡集を原作にした映画『愛と死をみつめて』が封切られた。吉永小百合と浜田光夫の純愛作品に、柄にもなく涙を流したのも今思えば、青春時代の懐かしい思い出。たより、手紙などという言葉に耳にし、目にとるとホロ苦さが今も胸に甦る。

そんな私に、ここ30年、11月19日になると決まって届く簡潔明瞭な「たより」がある。

差出人は、安積高校へ入学した年にクラスを担任して下さった《竹花栄明先生》だ。

内容は、私共夫婦の結婚記念日を祝福して下さる文面だ。私は昭和41年のその日に結婚した。その披露の席に、竹花先生がお忙しいにも関わらずご出席下さった。その翌年から先生の「たより」が届きだした。1年目を喜び、2年目を祝福し、子供の誕生をお知らせしてから、その健やかなる成長を祈るという文面も加わった。

決して愛妻家ではない私であり、また子供の誕生日など家庭内の記念日にまったく無頓着な私としては、ついつい自分の結婚記念日など忘れてしまうことが多い。そこに先生の「たより」が届く。過ぐる日、世界史の時間によそ見をしていて「コラッ、三浦！」と何度叱られたかは忘れたが、まさにそんな状態を思い起こさせて下さる「たより」が届く。

今年(平成8年)いただいた「たより」では、なんと今年が結婚30周年だということを知られて我ながら驚いた。

長男は結婚し、今年、私の孫をもうけた。それだけ月日が流れたのだなど、

公認会計士 星 武典 事務所

ムアーズ・ローランド国際会計事務所所属

〒101東京都千代田区神田錦町2丁目5番地(KSビル3F)

TEL(03)3291-8361 FAX(03)3291-8465

星 武典(58期)

しみじみと思った。

先生の今年の「たより」では、挙式日の「11月19日」、30周年の「真珠婚式」、そして差出日（実際には前日あたりの投函だろう）の「11月19日（火）」が朱書されている。これまた、授業中に黒板に書いた諸事項の中でも特に大切な部分に赤のチョークでアンダーラインを引き、私たちの注意を喚起して下さった先生の姿を思い出させる。

ただただありがたいの一語に尽きる。昨日今日に始まったことではないが、最近の若者は手紙類を書かないと嘆く識者の意見をよく見聞きする。だが彼らには、電話がある。ファックスがある。ポケベルがある。パソコン通信だって出来る。何故あって一字一時書かなければならないのか。おまけに誤字があれば、それを厳しく指摘される。そんな煩わしいことをやっていたら、という若者の気持ちはわかる。

わかるが、ラブレター、恋文などというのは彼らにとっては、もはや死語なのか。

平成五年、福井県の丸岡町が「一筆啓上賞—日本—短い「母」への手紙」を募り反響を呼んだ。丸岡町はあの「一筆啓上 火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」で有名な、家康の家臣本多作左衛門の出身地。それにあやかっただけの企画だったが、一筆啓上賞（郵政大臣賞）受賞作品を見ると、手紙の書き手で一番年少が9歳、続いて11歳、16歳、21歳と、いるいる、若い人が。

なんと嬉しい事実だろう。

私は長年の記者生活が禍して書癪になり、現在ワープロにすがって原稿をものしているが、手紙など、いい気になってキーを叩いていると延々と長くなってしまふ。それを右の企画への応募者はせいぜい短歌程度の文字数で母への思いをつづっているのだから、脱

帽以外の何物でもなく、合わせて若い受賞者の肩を優しく叩きたいと思う。

著名人、文学者などの書簡もその人となり、作品の背景などを知るのに役立つものだが、面白いのは放浪の俳人種田山頭火の手紙。

有名な「分け入っても分け入っても青い山」を作った4年後の昭和4年1月5日、彼を後援してくれている福岡の開業医木村緑平さんに広島から送ったはがきに山頭火は次のように書いている。

「……先月の中旬当地まで来ましたが、四大不調でせうことなしにこゝで年越しするやうになりました。といふ訳で新年早々不吉な事を申し上げてすみませんが、ゲルト5円貸して戴けますまいか、宿銭がたまって立つに立たれないで困ってゐるのです」

妻を捨て職を捨てて行乞の旅に出た山頭火だが、たまたま余分の喜捨を受けると大好きな酒に換えてしまい、挙げ句の果てにお金に困ると友人知人に無心する、とまったく身勝手なものだが、山頭火を愛する私は、こんなところに彼の魅力を感じるのだ。

文は人なり、という。特に自分の思いを吐露する私信には、それが強い。それだけに訴えるものがこちらにピンピンと伝わる。竹花先生の「たより」もまさにそれ。何十年も前の教え子のことを思つて下さるお気持ちに頭が下がる。

さて私も、今度の誕生日（自分の誕生日くらいは知っている）を迎えると59歳。

その歳で、竹花先生の「たより」を頼りにしている情けなさ。でも、来年も、再来年も文頭に掲げた歌の文句ではないが、先生からの「便りがとだえて……」とならないことを願うや切である。

「たより」をいただけるのは、竹花先生のご長命の証しでもあるのだから。

（有限会社レオ企画 代表取締役）

ハーバートからの便り

安田常宏 (74期)

私の近況を報告します。私の名前は安田常宏。そして妻はシンシアで、アメリカ人です。私の子供は17才のマリコと13才のジョナサンです。現在の住居は、ボストン郊外のウェルズリー町です。人口5万人くらいの町でボストンの西に所在しています。車でボストンに25分で行けるので大都市の近くに住んでいるわりには幸運です。妻はロードアイランドとニューヨーク大学を出た看護婦で、ニューヨーク大学医学部病院でインストラクターとして働いています。私は内科、心臓科そして核医学を経て現在核臓医学を専門にしてハーバード大学教育病院のマサチューセッツ総合病院で働いております。ハーバード大学の講師です。助教授になかなかできません。ここで教授になるのは外人としては、ほとんど不可能に近いとのこと。仕事で認められるよう毎日頑張つてやっております。私の下では、日本人研究生2人、ドイツ人1人、そしてフランス人1人が働いています。

全員自費又は政府資金で留学しています。私の病院は国際色が豊かです。英語で自由に話しができるので「考え」の交流にはとても便利です。宗教が違い、育った土地が違い、気候が違い、食べ物も異なっても、「ねがう事」そして「きらいな事」は全く同じという事ではあたり前としても、考えを新たに

健康づくりのパイオニア



丸光産業株式会社

より良い医療・介護用品づくりとトータルの介護サービス提供をめざします。

【本社】 東京都台東区東上野3丁目15番6号 ☎ 03-5818-0303

代表取締役 高田勝利(76期)

【工場】 福島県郡山市富田町久根下40番地18 ☎ 0249-52-4511

させられます。黒人、中国人、スカンジナビア人、ロシア人、インド人、中近東人と雑居するアメリカでは往々にして正誤の判断に違いがあるか、又はづれます。日本人だけだったら「それはまちがっている」といって100パーセント同意するのに、前記の人々に聞きますと「それはまちがっていない」又は「まちがっているとはかぎらない」又は「正しいこともある」等々、果たして自分が正しいのかどうか迷うときがあります。皆さんはどうしますか。私はどうしようもありません。五十をとうに過ぎてまだ、正しいことがはっきりしないとは情けないですが、自分は、自分で、自分の信じることで判断するより他にありません。私の妻はカソリック教ですが、私の判断と全く同じで、結婚と教育の面では全く問題はありませぬ。日本でもいろいろの文化が入ってきて、例えばテレビ、新聞そして外国の文献、このような問題が起きつつあると思います。そのたびに法律家を頼んで「正しい」ということを証明してもらおうようでは情けない限りです。もうひとつの私の気が付いたことでは、日本人の留学生の質の低下です。とくに「態度」はアメリカ人並みの悪さです。アメリカ人でもまだ多くの学生は非常に良い態度をもっています。年をとると若い者の態度が悪く見えるのはいつの世代でも同じですが、中国人（本

土）、インド人、タイ人、ベトナム人、そしてヨーロッパ人と仕事をして彼らの態度とそして働きぶりの良いのには驚きました。日本人も20年前くらいはよかったです。最近では知人の保証なしでは研究生は日本からはとりません。我々のこのされた人生を後続者の教育特に道徳、倫理の面でやろうではありませんか。ドイツ、フランス、イギリス、イタリアの学生は大変よくやります。日本人も彼らに先をこされぬようがんばりましょう。私も機会があるたびにスタッフの会合でこれを持ちだし、みんなで頭をかかえています。ハーバード大学の一流の学生でもこれですから他の大学でも同じでしょう。しかしいつも1人でも2人でも非常に良く教育され、そして態度が良く、道徳的にもくもりのない人が出てきて、やれやれと思うことが時々あり、望みはあるようです。

日本語を忘れかかり、辞書を引きながら書きました。質問は
 TSUNEHIRO YASUDA
 38 RIVERDALE ROAD, WELLESLEY,
 MA. 02181, USA.
 Tel 617-237-4159.

E-mail HIROSAMA@AOL.COM
 です。みなさまのご意見をお聞かせ下さい。

12月27日 ウェスリーの自宅にて。
 (ハーバード大学講師)

ギャンブル狂日記

一会報18号よりつづき

赤沼雅彦 (86期)

競馬ファンなら、誰もが待っていて、誰もが胸をときめかし、誰もが心をおどらせる。

第40回グランプリ有馬記念。別名ドリームレースとも呼ばれている。

夢は、出走するサラブレッドによってチャンスが与えられ、努力、ヒラメキ、神の啓示によって獲得できる。

競馬とは、そういうギャンブルである。

競馬は、予想という何とも頼りないアクションから始まる。地味である。しかし、そのあと繰り広げられる果てしないプロセスと一瞬のクライマックス、このリズムの繰り返しは麻薬となり絶頂感を与えてくれる。

そういうゲームだ。

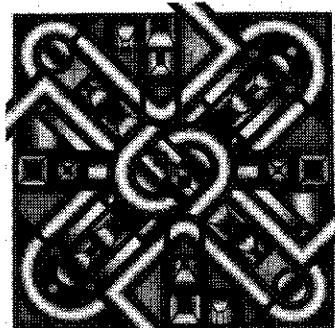
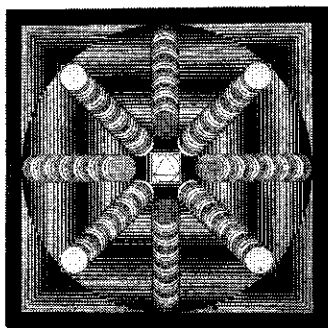
ボクは、すでにそのゲームに参加していた。

しかも、それは有馬記念という今年最大のゲームだった。

JRA発表・前日売りの単勝一番、二番人気は、予想通り牝馬のヒシアマゾンと復活待たれるナリタブライアン。この2頭は、最後までボクを苦しめることになる。

まず、有馬記念出走馬12頭をチェックしていく。血統、脚質、2500メートルに対する距離適性、このレースに向かってきたこれまでのローテーション、馬の格、レースの展開、ジョッキーの手腕、過去のグランプリデータなど、予想項目はあふれる程である。

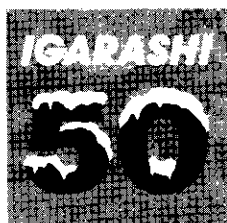
さらに忘れてならないのが、有馬記念の特異性である。過去、このレースでは何かが起きている。人が予想でき



右
 「COMPOSITION
 96・R・1」

左
 「放射シリーズ
 82・R」

(熊田喜宣・画)



五十嵐冷蔵株式会社

〒108 東京都港区芝浦二丁目10番5号 ☎(03) 3451-1111 (代)

吉田 弘俊 (52期)

なかったような何かが…。雲をつかむような話だ。しかし、過去のデータがそれを証明している。

思えば3年前のレース、逃亡者メジロパーマーが信じられないような大逃げを演じた。1昨年は、トウカイテイオーが1年ぶりのレースにもかかわらず、奇跡の復活をなし遂げた。記憶に新しい昨年は、女傑ヒシアマゾンの出番だった。何十年ぶりかで、牝馬の連対をやったのけた。

これらはすべて、レース前には考えられない予想しにくいことだった。

そこに、有馬記念の難しさがある。

今年も考えられないような何かが起きる。そんな予感がしてきた。

特に、3年前のメジロパーマーは、本格的に競馬をはじめたボクに強烈な印象を与えた。

彼はボクに、走る馬と賭ける人との間に存在するだろう見えない糸の結びつき、いかなれば人と馬の馬券を通した信頼関係を教えてくれた。忘れられない。(ボクは3年前の有馬記念で、超人気簿メジロパーマーの単勝馬券を千円だけ買っておいた。結果、4500円の単勝大穴馬券を当てている。…ニュースになった。)

そんなことを、いろいろ思い浮かべながら予想していた。

そこへ、外山さんからの電話—予想が聞きたい。まだです。いつなら、いい？そうですねえ、…明日の朝なら、出るでしょう—。

何しろ、今年1年の成果が問われる大事なレースだ。納得のできる予想をしたい。少しなりとも、いい加減な予想は発表したくない。土曜の夜、有馬記念の出馬表をみつめる目はますます鋭くなる。

さて、その予想だ。

あらゆる要素を総合的に考えた上で、

レースの決め手となる最終的なポイントは、展開、ローテーション、距離適応性の3点に絞ることができた。馬の格は、このレースに関してとりあえず軽視していい。3つのポイントを中心に、何度も何度もレースをイメージしてみる。こうして、勝ち負けできる馬を少しずつ絞りだしていく。人気や名前に惑わされず、純粋に勝ち馬をみつけだすのだ。

そもそも競馬とは、他の多くのゲームと比べて、勝利をつかむ参考資料として多くの情報が与えられるゲームである。大切なのは、それらの情報を取捨選択することだ。情報収集を軽んじて、競馬はたんに運まかせとか、結果がすべてなどと、どこかで聞いた風なことを詠知り顔で語る人がいるが、たぶん一生競馬に勝てないだろう。

遊びで競馬をやるなら、それでもいいが…。

100%の努力をした上で、ようやく運を天にまかせると謙虚になれる姿勢こそが、競馬必勝への常道だ。運を天にまかせるといふ姿勢、一見いい加減な言いように聞こえるが、決してあやふやなものではない。確率の問題である(この確率は競馬をやれば理解できる)。

さらに加えるなら、競馬というゲームで忘れてはならないもうひとつ重要なことが、勇気と心のフリーである。説明すると長くなるが競馬をやればだんだん分かってくる。競馬をやらなければ、理解できないものでもある。

ボクの競馬哲学だ。

翌午前3時。

結論に達した。

検討を重ね、レースを何度もイメージして達した。逃げ先行型は不利という、有馬記念のデータを越えて、ひらめいた結論だった。

ひらめいた。ひらめき、ピンときた、言い方はいろいろあるが、これは重要なことだ。

あらゆるケースをイメージし、その中でモクモクと生まれてくるのが、競馬における真のヒラメキだ。こういうプロセスで生まれてくるヒラメキは、99%正しい。

(映像ディレクター)

高山樗牛 終焉の碑について

星澤正男 (48期)

平塚市JR線東口を降りて南方五百米、袖ヶ浜海岸に杏雲堂病院がある。高山樗牛が明治33年(1900年)30才の時に肺結核と診断された東京駿台の杏雲堂佐々木病院の分院である。樗牛は9月11日この平塚分院で診察をうけ、その後興津、大磯、鎌倉と移りながらも杏雲堂分院で診察を受けて居た。明治35年(1902年)32才鎌倉長谷観音堂境内住居にて3月に病状悪化、10月平塚杏雲堂に入院2ヶ月後の12月24日この病院で永眠した。母校の安積歴史博物館第7室「明治の文豪樗牛 高山林次郎」の展示品がある。私の住む平塚市は七夕飾りで有名になったが昨年7月、48期の級友、青山勝馬、長谷川輝、渡辺政右衛門の諸君と七夕を見て後樗牛終焉の杏雲堂病院と樗牛碑を案内した。碑は病院正門右手にあり昭和34年に建立されたもので碑文は平塚市長戸川貞雄氏の撰、題字は親交のあった薬学博士河合亀太郎翁筆で次ぎのように刻まれている。「HOPE高山樗牛碑、八十三翁河合亀太郎謹書。明治35年10月25日樗牛高山林次郎博士は平塚海岸杏雲堂に入院した。病室には姉崎嘲風氏がロン



Quality & Beauty を
テーマに。



株式会社 安川電機

取締役社長 橋本伸一 (換算66期)

本社 北九州市八幡西区黒崎城石2-1 〒806
TEL093-645-8800

ドンから送ってきた、G.F.Wattsの作「希望」の写真が飾られていた。額縁は葉局長河合亀太郎氏が特に贈ったものである。それに樗牛の自筆でHOPEの文字がしたためられていた。この年12月24日樗牛は32才でここに終わった。昭和34年春「平塚市長戸川貞雄」建立昭和34年11月9日、石質は京都鞍馬石で樗牛が将来赴任をつよく希望していた京都の自然石を用いたという。

そして碑面左上の枠取りのなかに、「HOPE」という樗牛自筆の文字が刻まれている。最後までロンドンに赴き親友姉崎嘲風と共に究学することと生存への「希望」を捨てなかった樗牛を偲ばせる文字である。その心中を思えば哀切で深い悲しみにさそわれる。

またこの主碑の傍らに副碑があり次ぎのように刻まれている。

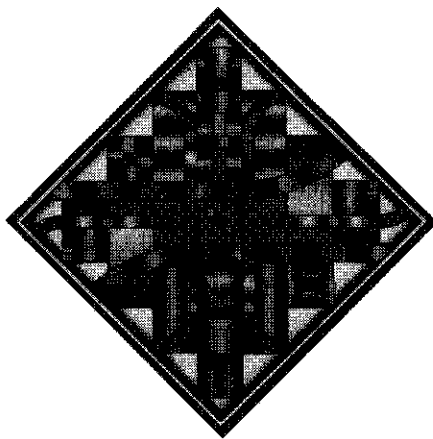
「高山樗牛は林次郎といい山形鶴岡の人でした。ゆたかな学識とすぐれた思想と美しい文章をもって明治文壇に不滅の足跡を印し、随筆「わが袖の記」小説「滝口入道」等はいまなお多くの人達に愛読されています。樗牛は明治33年文部省から美学研究のためヨーロッパに遊学を命ぜられました。病にかかりたびたび平塚海岸の杏雲堂に診療を求め渡欧の日を夢見つつ療養に専念しました。院長佐々木政吉、副院長佐々木森男氏は樗牛のために懇篤な治療の方法を講じ、彼もまた再起を期しつつあったのですが、明治35年もおしつまった12月24日平塚の浜にうちよせる波の音に耳をかたむけながら砂丘の病棟で不帰の人となりました」

碑材は仙台石が用いられている。樗牛が仙台の第二高等学校に学び、教授もしたのでそれにちなんだものである。さて平塚市は「ホープ碑」を建てた昭和34年11月9日～15日「高山樗牛に関する展覧会」を市図書館の主催で開き

42点の記念出品物を展示した。また11月9日樗牛碑除幕式のあと市公会堂に於いて「高山樗牛に関する講演会」を開催し、平塚と樗牛を偲び7名の識者による講演が行われている。当時の戸川市長はじめ教育長加藤一郎氏（のち市長）はじめ市民の皆さんが樗牛を惜しむ気持ちの表われで有難いと思う。母校には樗牛碑「人生は価値なり」があるが、この若くして人生を風のように駆けぬけていった偉才が残した「吾人は須く現代を超越せざるべからず」と清水市龍華寺墓碑に刻まれている言葉が樗牛没して95年新世紀を迎えんとしている現代の我らに問いかけているものを改めて噛みしめるときと思う。会員の皆様が時を求めて「ホープ碑」を見ていただきたいと思い拙文を記した。

終わりに昭和11年卒の我等48期は卒業六十周年を過ぎ、同期生212名中現在67名となり、郡山市20名、福島県内19名、東北北海道4名、東京都11名、関東11名、中部近畿2名となった。恩師阿部常治先生が福島市に、松崎友文先生が相模原市に御健在である。48期は毎年9月郡山市に於いてクラス会を開催している。

(林野会常務理事)



「COMPOSITION 94・1」（熊田喜宣・画）

郡山のまちづくり

嶋影健一 (74期)

まず最初に日本のために中央で御活躍されているOBの皆様へ心から感謝申し上げます。今回寄稿することになったこの私は、安積高校74期卒の嶋影健一と申しまして、在校中には諸先輩方には大変お世話になったとつくり（徳利）の息子です。

100才まで生きるかと思われた父（秀夫）も平成4年1月に享年81才で他界いたしました。現在は母とスーアの冷めない距離にて暮らしております。

私も今年で55才になりますが、いまだ気持は若く、また若いスタッフに囲まれておりますが、備忘録も忘れるこの現実に苛立を感じる今日この頃でございます。

なぜ私に原稿依頼があったのかを簡単に申せば、桜井淳氏には郡山市も含め私達は大変な借りが（借金ではありません）あるのです。それは10年位前に桜井氏が郡山市のまちづくりを委託され、実施案を提出されました。そしてそれを実現するために、郡山方式を提案されました。郡山方式とは、「まちの活性化やまちづくりは地元の人々の心意次第であり、その中心には地元の建築設計者がなるべきである」ということでその中の一人として参加させていただきました。

大変良い経験をさせていただいたと同時に、私達の業界では特に地方ではハード系の学校出身者が多いので（私もその一人ですが、桜井氏はソフト系なのです。）大いに啓蒙、啓発され刺激を受けました。この場をお借りしお礼申し上げます。

海運健康保険組合

常務理事

増子 邦雄 (71期)

東京本部 〒103 東京都中央区日本橋室町4-2-16
楠和日本橋ビル
TEL. 03-3271-7524 FAX. 03-3271-7545
神戸支部 〒650 兵庫県神戸市中央区東町113-1
大神ビル
TEL. 078-321-2911 FAX. 078-321-2913

大永紙通商株式会社

出版用紙部部長

樫村 紀夫 (71期)

〒104 東京都中央区明石町6-26
TEL. 03-3542-2501 FAX. 03-3542-9923
自宅 〒351 埼玉県朝霞市朝志ヶ丘4-10-13-105
TEL. 048-474-2605

京浜ドック株式会社

代表取締役社長

大内 博文 (71期)

〒221 神奈川県横浜市神奈川区守屋町1-2-2
TEL. 045-461-6834 FAX. 045-453-3383
自宅 〒215 神奈川県川崎市麻生区万福寺228-2
TEL. 044-955-4726

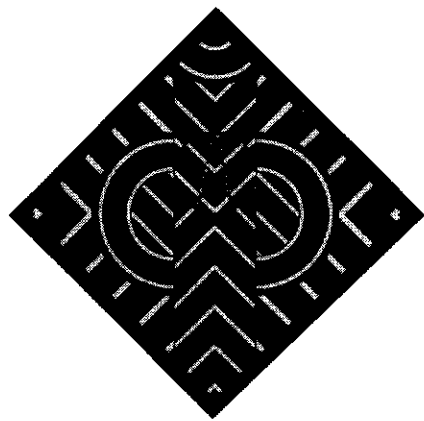
現在、まちづくりスタッフは7名に増え、桜井氏の意志を継いで、フォロー中ではありますが、商店街は生き残りをかけて商戦たけなわ、せめて郡山の顔であり、イメージUPを計るためには駅前広場が必要と実現に向けて孤軍奮闘しております。

この頃とみに感じるのは政・財界含めてOBの方々の多いことです。

そのベースには、今まで謙虚を旨としてきましたが、ようやく伝統+責任=団結の必要性に目覚めてきた感があります。きっとこの延長上にはOBの悲願である安高野球部の甲子園初出場もありそうな気配がいたします。

最後に市に代りちょっとだけ開成山界隈と私も含めてPRさせていただきます。現在市は開成館を中心とした安積開拓の歴史の充実に力を注いでおります。その一環として（私はそう解釈したのです）開成山公園の中に私の設計で「安積開拓の記憶装置」として地下水（猪苗代湖の伏流水）を利用した滝のある公衆トイレが今年の桜の季節にOPENしました。ぜひ帰省した折には、郡山弁で「たまには寄ってがっせ、待ってっかない」。一見の価値あり。

（建築設計（有）建築工房所長）



「COMPOSITION 94・II」 (熊田喜宣・画)

太公望の日々

御代田邦英 (100期)

このところ、私はどうも釣りに凝ってしまっているようである。釣りといっても海釣りではなく、もっぱら湖や溪流でのそれが中心である。会社に入ってから始めた釣りであるが、折りからのブームも手伝って今となっては会社の中だけではなく、取引先などにもかなりの釣り仲間ができた。

そんな仲間たちからの口コミあるいは新聞や雑誌などで得た情報を吟味し、事前にお目当ての魚の潜むポイントに当たりをつけておく。そしていざ休日ともなると眠いのも忘れ、まだ夜が明けきらないうちから雄大な自然のフィールドに向って車を走らせる。そして数時間のドライブの後、その十分吟味されたポイントに向って、これまた十分に選び抜いた擬似餌や仕掛けを何度も何度も繰り返し投げ込んでいる自分の姿がある。

釣りのおもしろいのはここからである。得てして雑誌に載っていたり人から聞いたポイントなどというのは、いざ蓋を開けてみると実はもうかなり魚影が薄くなってしまっていたりするものである。要は全く釣れないのである（ただし、それに気付くのはかなり後になってからののだが）。よってここから私と魚との本当の勝負になってくる。自分の足とこれまでの経験から得た知識を頼りに魚を追い求め次から次へと別のポイントに移っていくそしてまた何度も何度も擬似餌を投げ込み試行錯誤を繰り返していくことになるのだ。

このまま魚に出会えずに一日が終ることも間々あるのだが、この繰返しがまた言い様もなくおもしろいのである。人によく「釣れないのにおもしろいの？」と言われることもあるが、これは本当に釣りが好きな人にしか分からないことかもしれない。

そして何度も試行錯誤を繰り返してきたその竿先に幸運にも微妙な振動を感じ取ることができたとき、私の興奮は頂点に達する。そしてその後繰り広げられる数分間の魚との格闘の末、その野生味あふれた姿を目の当たりにしたときの感激はとても言葉では言い表すことはできない。一度でもこの感激を味わってしまったらどんな人でも病み付きになってしまうのではないだろうか。現に私の妻がそうであるように。

昨年の夏私は、裏磐梯にある溪流にひとりで入り込み、野生の姿をそのままに残した美しい岩魚や山女たちに出会うことができた。そしてその時私は初めて故郷福島のこれほどまでに美しく荘厳な自然を実感することができたような気がしたのである。これもまた何事にも代え難い深い感動であった。

そして、今年もまたその壮大な自然の中で魚たちの美しい姿に出会えることを夢に見ながら故郷を訪れることになるであろう。このときばかりは、事前のポイントチェックなど下手な策略は練らずに、はじめから自分の足で故郷の自然にぶつかっていきたく考えている。今となっては私より格段に腕を上げた妻を引き連れて。

(株)富士銀行 資金証券営業部

片桐貴金属工業株式会社

取締役/経理部長

三輪 良充 (71期)

〒114 東京都北区田端新町3-11-2
TEL. 03-3894-4111 FAX. 03-3894-4178
自宅 〒349-01 埼玉県蓮田市椿山2-8-19
TEL. 048-769-1341

燈台 (アフガン難民救援協力会)

事務局長

石黒 早苗 (71期)

〒364 埼玉県北本市北本宿161-4
南福音診療所内
TEL. 0485-91-7191 FAX. 0485-91-9668
自宅 〒363 埼玉県桶川市上日出谷1284-12
TEL. 048-786-1450

東京農工大学

教授/農学部附属農場長

塩谷 哲夫 (71期)

〒183 東京都府中市幸町3-5-8
TEL. 0423-67-5800 FAX. 0423-67-5801
自宅 〒164 東京都中野区上高田4-8-1-605
TEL. 03-3228-9976

編集後記

■パリ在住の画家67期の岩谷さんが2月銀座で個展をされました。訪ねたところ来廊者に作品について自ら解説するようにすでに用意されていた文章がありました。会報への掲載をお願いしたところ「イイヨ」とあのニッコリ笑顔で快諾してくれました。肝臓移植をされた体なのにハツラツと活躍中です。

ハーバード大の74期安田先生は福医大卒業後渡米、日本語を忘れかけているのに字引きをひきながらアメリカ人的日本語で寄稿してくれました。彼は本宮町大山の出身です。

今回のイラストは福大教育学部の75期熊田先生です。通常の校舎内外の風景や弥重派とは感性の違いを鮮明にしています。

安積卒以来約30年の間に岩谷さんと二回めの出会い。安田とは一回もな

し。熊田とは二十代に確か一回。なのに「頼む」と言えば「イイヨ」の快答。嬉しき事かな。(74期 高松 豊)
■昨秋ごろから、パソコンを触り始めた。五十の手習いではないが、本気でやらないとニッチもサッチもいかなかった。というのも、ウィンドウズ95騒ぎの時に、パソコンを買ってみたものの、もっぱら活用しているのは、女房、子供で、私自身はキーボードをみるのもこわかったのが正直な気持。でもトライしてみると、要領さえ覚えてしまえば意外と簡単？ メールやインターネット等現在進行形で習得中の今日この頃です。(81期 渡邊龍一郎)

TOPICS——磐梯熱海温泉活性化に挑む

磐梯熱海温泉の紅葉館『さらくや』(村田英男社長・75期、3ページに広告)は、昨年10月、典型的な団体客志向の温泉旅館『紅葉館』から、個人客主体のB&B (Bed&Breakfast) 型の旅館+温泉健康センターへと大胆な業務形態の転換を行った。平成5年から4年連続して「プロが選ぶ旅館百選」に入選していた優良旅館がなぜ、これだけの大変革をしなければならなかったのだろうか。

磐梯熱海温泉はバブル崩壊後も比較的安定した集客数を誇り、ここ2年程も日帰り客を中心に着実に伸びている。ところが、ここにきて温泉街の3分の1がリニューアルを行った。大手の旅館も収容人員を2倍に増やす等の変化が現れてきたのだ。

村田氏は、このままの業務形態ではいくら改装などしたところで、先々競合して苦勞するのは目に見えている。それならば積極的に行動を起こし、自館の問題だけでなく磐梯熱海温泉全体が活性化する方法はないかと考えた。その辺りが安積健児たる村田氏の面目躍如たるところといえる。

前述のB&B型旅館への転換で、新しい旅館形態を示すことによって話題性に溢れ、他館と競合せずに温泉街全体の知名度をアップさせることができるのではないかと。しかも、従業員に対しても単にリストラするのでは、それこそ士気の低下につながるが、新形態にすれば、夢を持って働いてもらうことが出来る。また、食べきれない分量で残飯が大量に出ていた従来のお仕着せ型「旅館料理」を見直し、レストランを併設してお客様が食べたい料理を自由に食べられる方式に切り換える。国際交流ボランティアの経験から出た氏の結論だった。

旅館の「体質改善」に立ち向かう村田氏の今後に注目したい。

事務局便り

■会報の発送は、会員各位の住所動向に大きく左右されてしまいます。住所が変わっていると、せっかくの会報も戻って来てしまうので、住所移動の際は事務局まで、ご一報下さるようお願い致します。

■総会の出欠ハガキを同封していますが、東京桑野会名簿作成の資料にさせていただきますので、ハガキには氏名、住所、電話番号、卒業年、期、勤務先と電話番号、役職等を明記して下さい。そして連絡もれもあるかと思われますので、お誘い合わせのうえ、多数のご出席をお願い致します。

ディスカバリー 97年ラインナップ新登場



DISCOVERY

V8i/Tdi S
¥2,990,000

V8i/Tdi County ¥3,590,000

※上記価格は希望小売価格です。消費税及びその他の税金、保険料、登録料、付属品(フロアマット等)の費用は別途申し受けます。詳しくは下記の販売店にお問い合わせください。

ROVER JAPAN



ローバー中野支店

〒165 東京都中野区江原町3-18-1 TEL.03-3950-1001 支店長 清治和昭 (66期)